

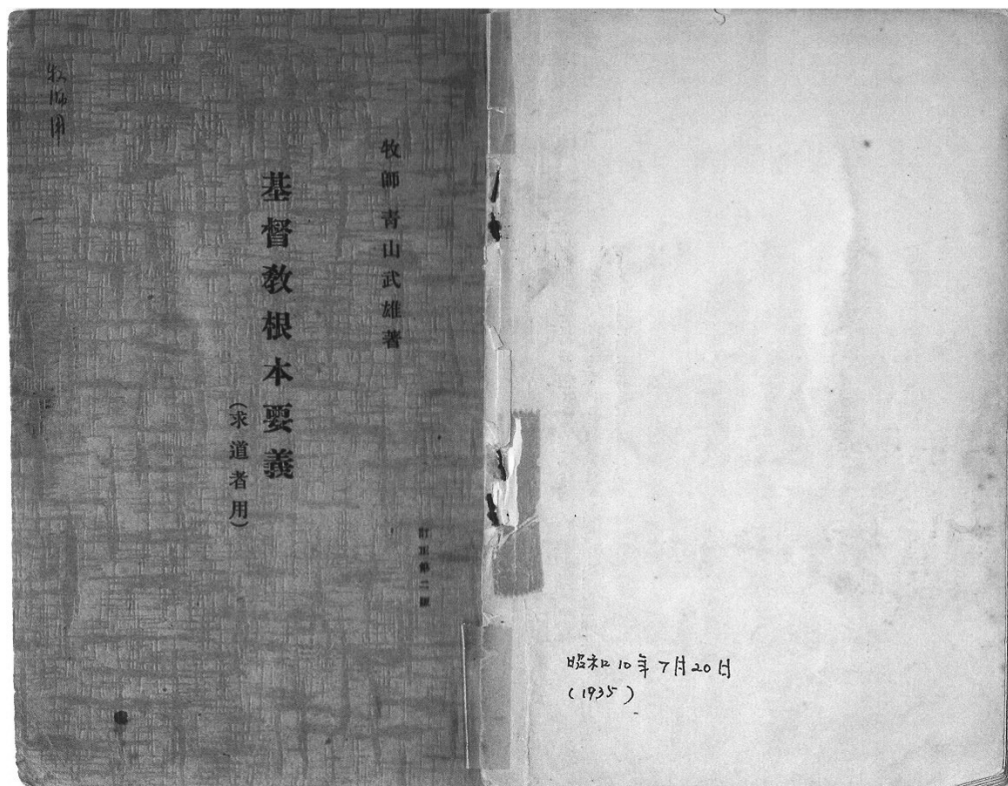
## 原版写真復刻

### 青山武雄『基督教根本要義』 (改訂第2版:青山書き込み本)

Reprint of the original Material by photography

#### Takeo Aoyama "The Basic Principles of Christianity" with Author's Description

本稿は、青山武雄著『基督教根本要義』（昭和10年出版、第2版、43ページ）の手拓本を復刻したものです。原本には青山先生がペンで書き込みをされています。グレーのハイライトは鉛筆書きです。



使徒信經	2	1頁
主の祈り	3	7頁
一、神	3	7頁
二、イエスキリスト	7	13頁
三、聖霊	13	16頁
四、罪	16	21頁
五、救	21	25頁
六、神の國と永生	25	30頁
七、聖文	30	35頁
八、新約	35	39頁
九、教	39	39頁

PRINTED IN JAPAN

### 主の祈り

(主キリストが弟子達に模範として教へ給ふを祈り)

天にまします我等の父よ。

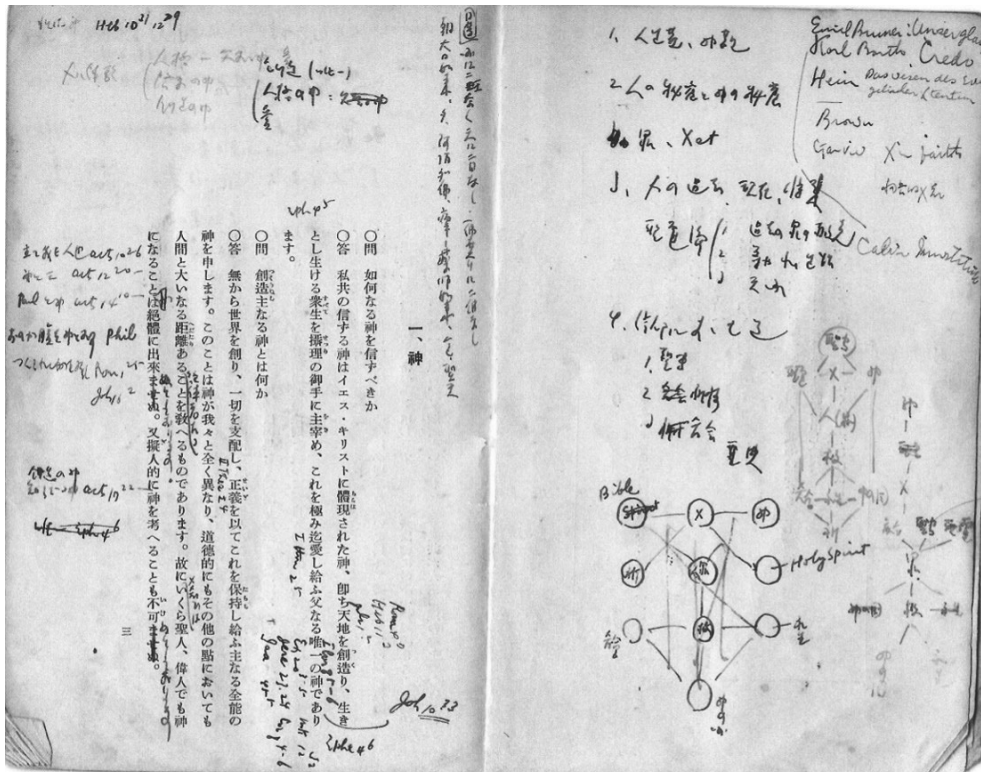
- 一、願くば聖名をあがませ給へ。
- 二、御國を來たらせ給へ。
- 三、聖旨の天になる如く、地にも成らせ給へ。
- 四、我等の日用の糧を今日も與へ給へ。
- 五、我等に罪を犯す者を我がゆるす如く、我等の罪をもゆるし給へ。
- 六、我等を誘惑にあはせず、惡より救ひ出し給へ。

國と權と榮光とは、かぎりなく汝の有ればなり。

### 使徒信經

(古くより使徒信經に傳はる信仰簡條)

- 一、我は天地の創造者、父なる全能の神を信ず。
- 二、我はその獨子、我等の主イエスキリストを信ず。主は聖靈によりて孕り、處女マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトの管下に苦難を受け、十字架に磔けられ、死して葬られ、冥府に降り三日目に甦り、天に昇り、父なる全能の神の右に坐し給へり、生ける人と死にたる人とを審判かんが爲め、彼處より再び來り給はん。
- 三、我は聖霊を信ず。又衆なるキリスト教會、即ち聖徒の交際、邪惡の宥恕、身體の復活、窮りなき生命を信ず。アーメン。



2ページ

「年譜 青山武雄」の掲載に寄せて  
『新長崎学研究センター紀要』創刊号  
15～17ページ参照

3ページ

口述? 国に二王なく天に二日なし・一佛世界に二佛なし  
朝大日如来、夕、阿弥陀仏、痛手に薬師如来、金?、聖天

人の体験 (人格一父なる神 愛、啓蒙の神、創造の神)  
(創造、人格の神、愛)

- 主の義は人なり Acts10-26
- 神と王 Act12-20
- Paulと神 Acts14-10～
- おのが腹を神となす Phil
- つくられしものを拝む Rom1-25 John16-2







「硬教育を施し給ふものが、それに打ち勝つために由り人生の  
晴忝宏となるものであります。」

問 如何にして神を知り得るか

「人は飽く迄罪ある物？に神を見ることを得ず、況んやこれを

肉眼で見、手で触り、感覚を以て知ることは全く不可能であります。かかる神は霊  
と誠の神なれば拜するものも霊と感を以て礼拝すべきであります。

故に、私共が心を清めて真剣な態度を執れば必ず感應することが出来るのであります。

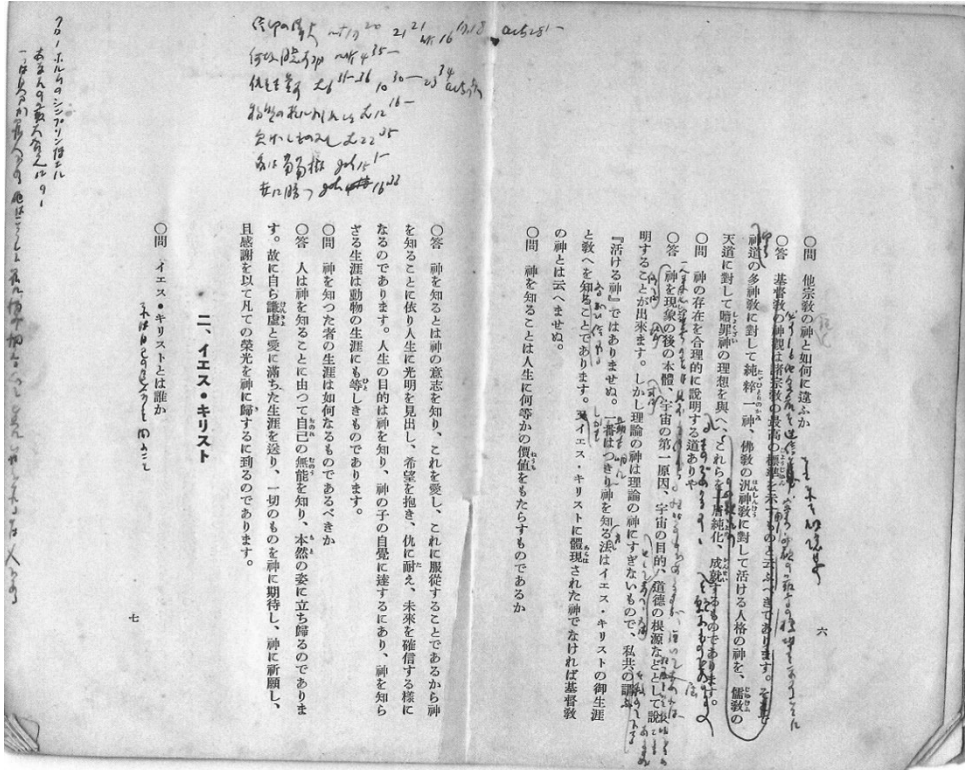
しかしX教では神を知るより神に知られること、言葉を変えて申せば神よりの啓示  
を素直に受け入れることが大切であるとしております。」

神の靈性は霊と誠を以て排すべし John

人は託し nt13-10 John12-40 John4-24

見不して信ずる John

何人が在しますかは知らねども忝じけなさに涙ながるる



6ページ

必ずしも他宗教を迷信として破却臆せず、寧ろ神観の最高の標準を示すことに由りこれらの神観の完成を願うものであります。

即ち、神道の多神教に対して純粹一神、仏教の汎神教に対して活ける人格の神を、儒教の天道に対して贖罪の理想を与えるのであります。

問 神の存在を合理的に説明するものであります。

7ページ

信仰の偉大 Matt10-20 21-21 Matt16-17.18 Acts28-1

何故臆するか Matt4-35

仇を董す L6-31~36

物質の類におしこめる L12-16~

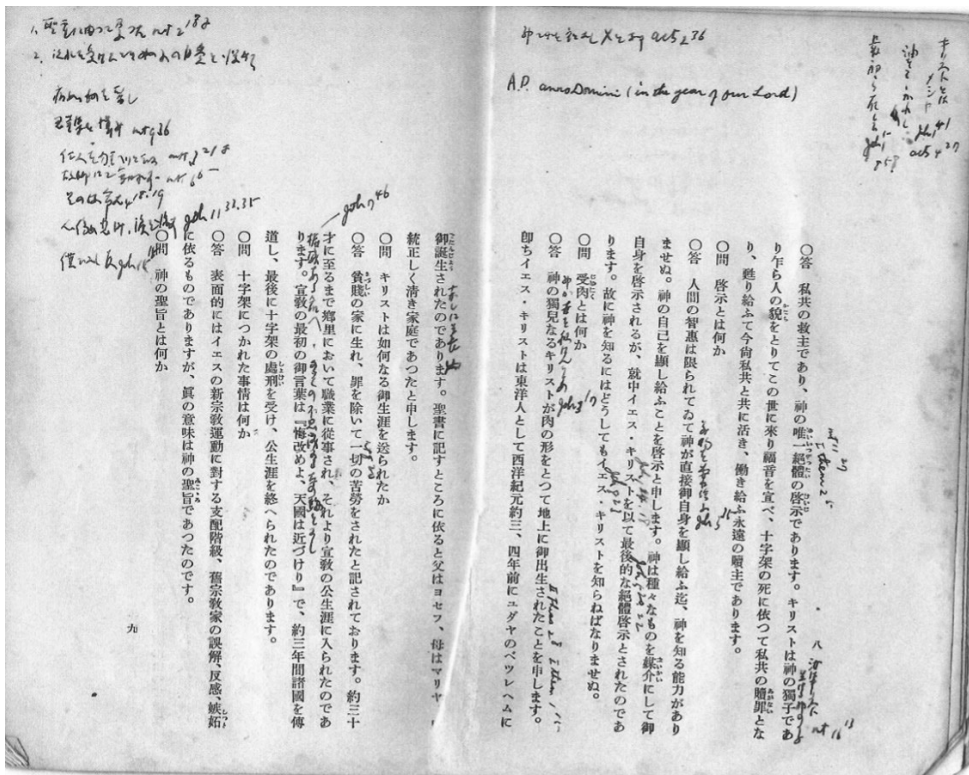
欠けつものなし John15-5

名は葡萄樹 John15-1~

世に勝つ John16-33

クロロホルムのシンプソン博士は

あなんの最大教兄にのる  
 一つは身分が罪人である ほかはこうして罪に悩み悶える心を真にいやしてくれるの  
 はXである



8ページ

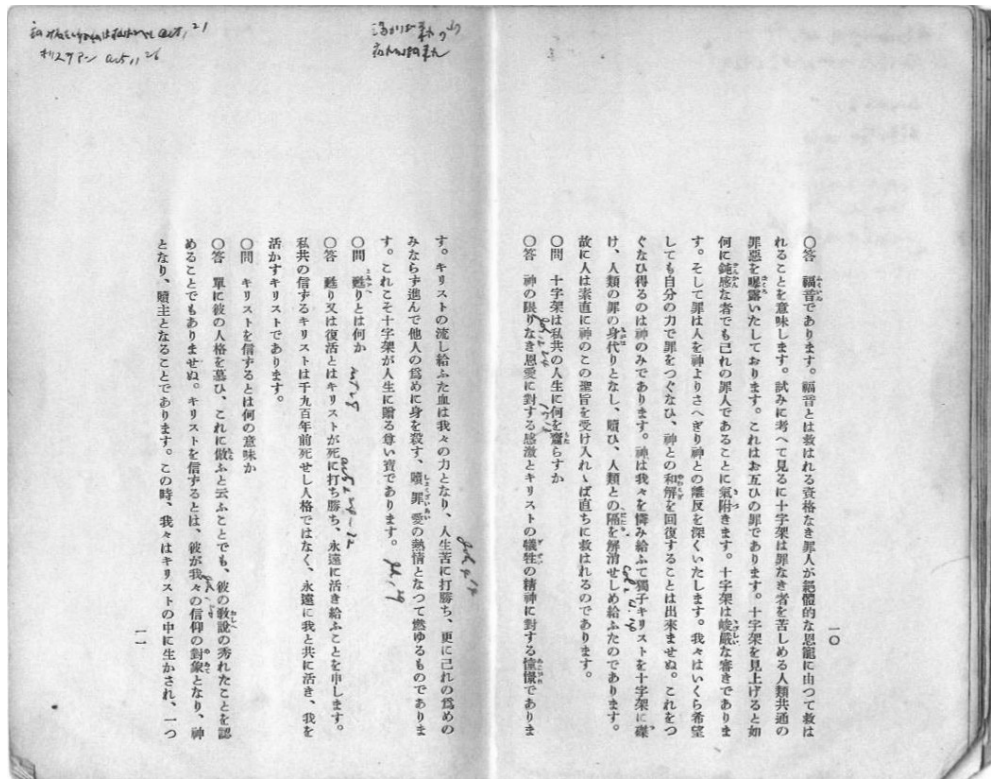
- キリストとはメシア John1-41
- 油をそそがれし Acts4-27
- 最初から存した John1-1-8.58
- 神はこれを主となしXとなす Acts2-36
- 汝はキリスト生ける神の子 Matt16-13
- 荷物を委ね給ふ John3-35
- 神が世を救わんがため John3-7

9ページ

- 1. 聖霊に由って知った Matt2-8
- 2. 洗礼を受けたとき神の主の自愛と悩める  
 病めるものを癒し

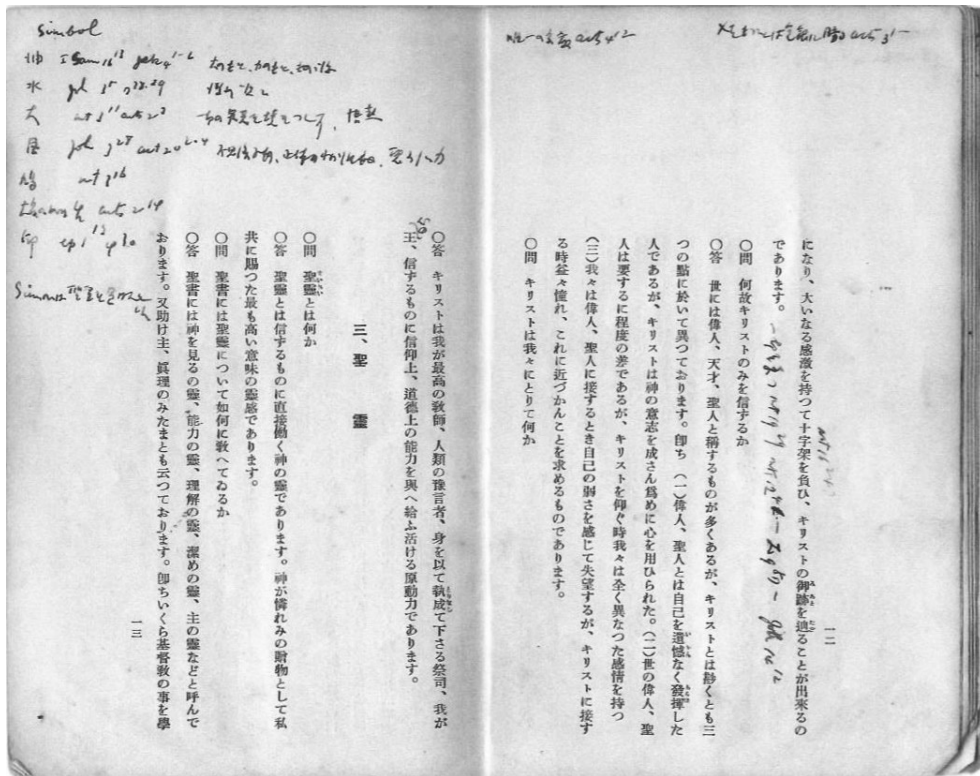


- 群衆を憐み Matt9-36
- イエスを狂へりと云う Matt3-21
- 故郷にて乞?われず Matt6-6~
- その使命 L4-18.19
- 人傷を悲しみ、涙を流す John11-32.35
- 僅かみし友 John15-18
  
- ナザレに生長 John
- 権威ある処へ、多くの不思議なる奇跡となし



11 ページ

- 渴かば来たれ Acts7-37
- 疲れたるもの来れ
- 主のみ名を汚?すものは□□たるべし Acts1-21
- キリストチアン Acts11-26

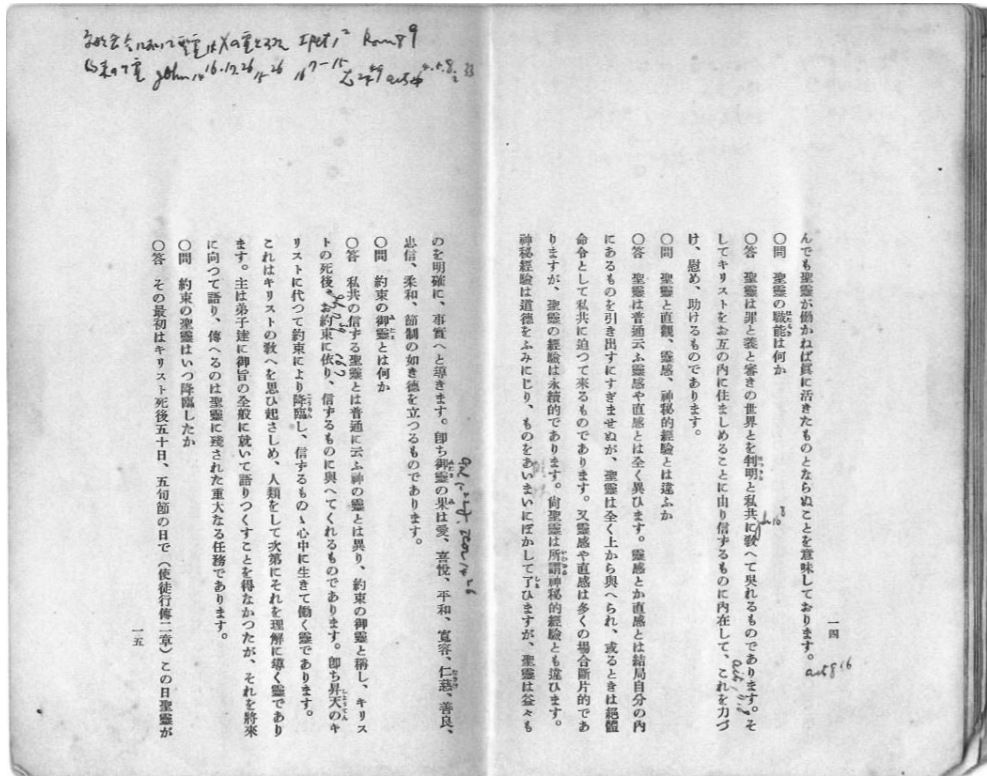


12ページ

Xをもつことは金融に勝る Acts3-1~  
 唯一の宗教 Acts4-12

13ページ

Simbol  
 油 Isam16-3 Jer4-1-6 火のもと、力のもと、ものの後  
 水 John 3-5 7-28.29 □□□□  
 火 Matt 3-11 Arts2-3 一切の罪惡を焼きつくす 情熱  
 風 John3-28 Arts 20-2-4 不思議なもの、正体のわかりしもの 聖引の力  
 鳩 Matt3-16  
 塩の如き生? Acts2-14  
 命 Ep1-13 4-30  
 Simonは聖靈と過さんとした

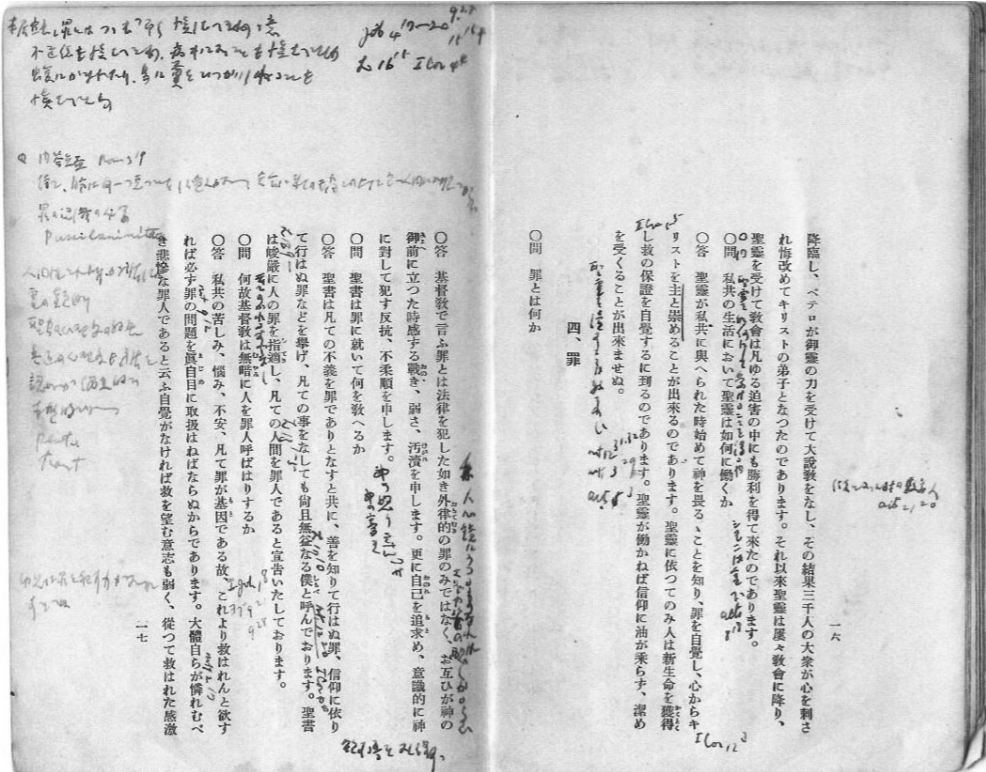


15ページ

原始教会において聖霊はXの霊とされた I Pet-2 Roma-9

約束の聖霊 John14-16.17.26 15-26 16-7~15 L24-49 Arts1-4.5.8 2-33





16ページ

信者となりたるもの猶太人？ Acts21-20

○問聖霊を如何にして受けとることを得るや シモンは金で Acts8-18

聖霊を洗すことは致されじ Matt12-31/32 Matt3-29 Acts5-3

17ページ

人心鏡にうつるものなれば

さどや姿の醜くかるらん

神の怒り

神の審き Matt-7

飽きず悟りをおし得ず

本居宣長「罪とはつつむ」即ち慎むべきものの意

不道德も慎むべきもの、病いにある人も慎むべきもの John4-17-20 9-2 15-15

蝮にかまれたり、鳥に口をひかかれたることを慎むべきもの L16-15 I Cor4-4

内答無益 Rome3-19

偕て、自分に何一つ悪いことをしてなくても？、教会に糺すのも？全て？の上に空しく内にいりてつまらない？

罪の認識の必然

Pursilanimitao

人間性それ□□、カソリ？にして

霊の顛倒

聖書の御聖教の特長

普通の御聖教も矛盾を

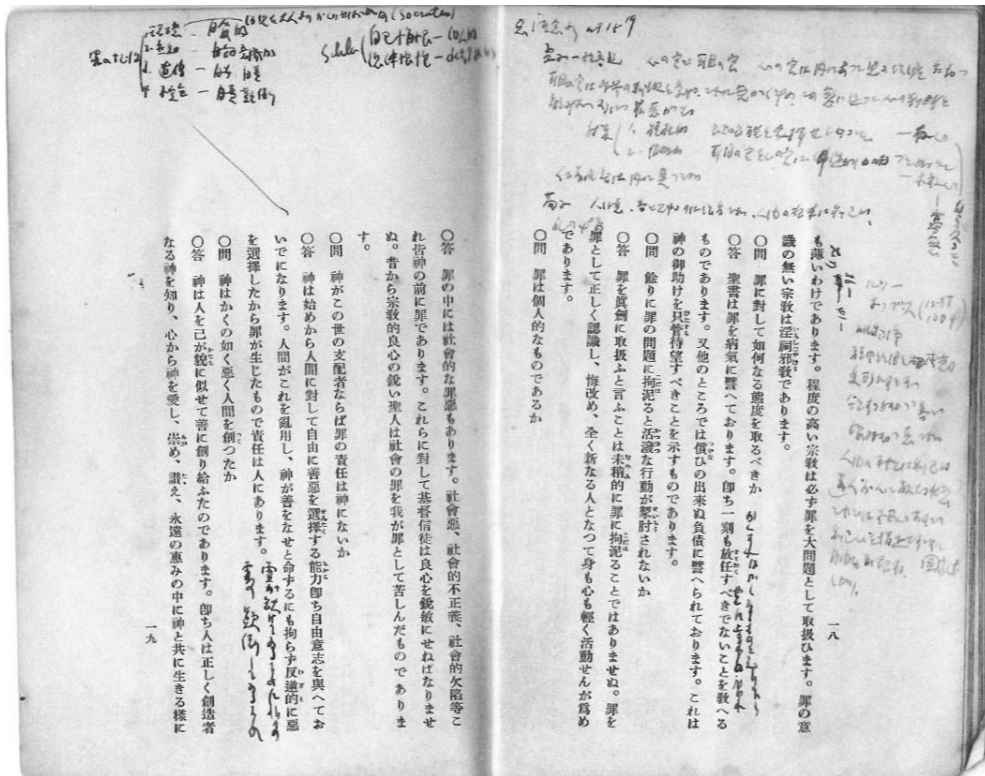
認めるが 偏重的で

本能的ではない

Pluto

Tamt ?

幼児は罪の力がないにすぎぬ



18ページ

癒し至念処 nf15-19

孕み一性善観 心の窓と耳目の窓 心の窓は内にある思の作用を動かす  
 耳目の窓は外界の斬概を受ける。これに毫か件の、この慾に従って心の判断を  
 顧みないならば、罪悪が生る

- 対策 1、積極的 良知良能を教揮せしめること \_\_\_\_\_存人の\_\_\_\_自ら知ること  
 2、消極的 耳目の窓を心の窓に従いつとめること\_\_\_\_求教心\_\_\_\_寛容悠心

仁者の礼智は内に具っている

荀子 人は真、善と見ゆる仕作者であり、人内の根本に利己心

ルソー

ホッブス (1588~1609)

唯物論

精神作用は本覚の

変形にすぎず



欲するものが慕い  
咎るものが悪である。  
人間の本質は利己心  
(悪人善人の適切状態)  
それには不安心なので  
利己心を満足させる事に  
自由を能節する。国家も  
しかり。

かくすればかくなるものと知りながら  
やむにやまれぬ流れ水

### 19 ページ

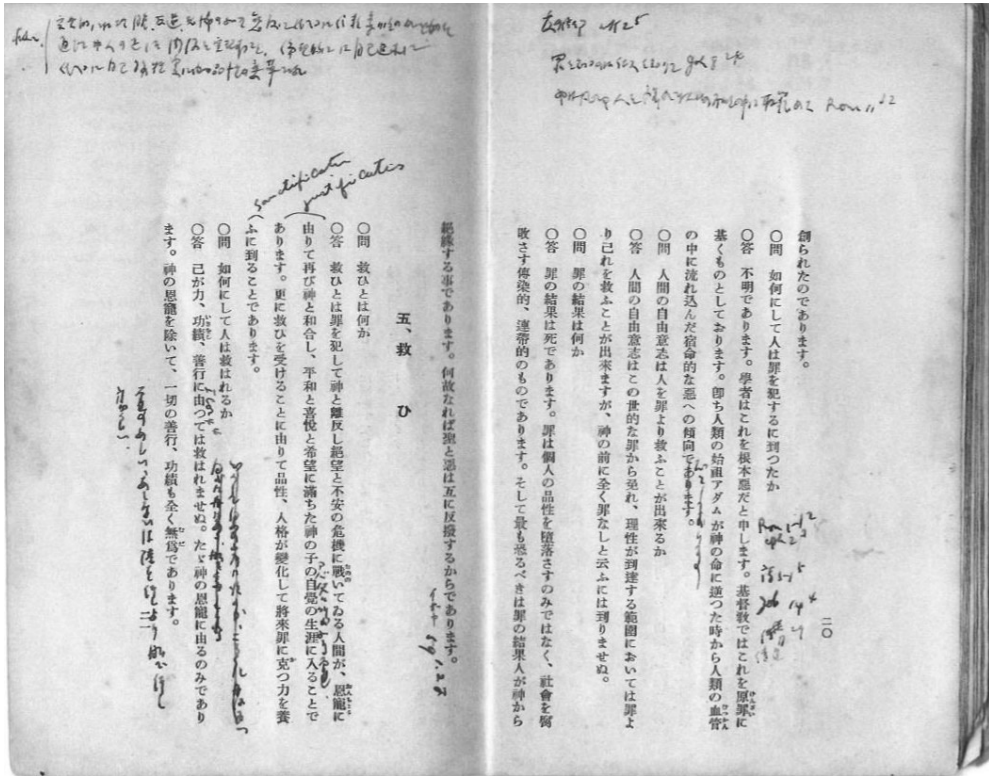
罪の記録

{	1, 環境—自発的 幼児を大人よりかくりせば如何 (Socrates)
	2, 無知—自知意識か
	3, 遺贈—自尊 自喜
	4, 不完全—自責 転倒

Schule

{	自己悔恨—個人的
	総体悔恨—水謝?的

霊が欠けているために殆どの霊の転倒しているため



20ページ

神の信仰 Matt2-5

罪を知るのはイエスを知りて John8-24

神は凡の事人を憐れみん為の不順の神に取籠めて

21ページ

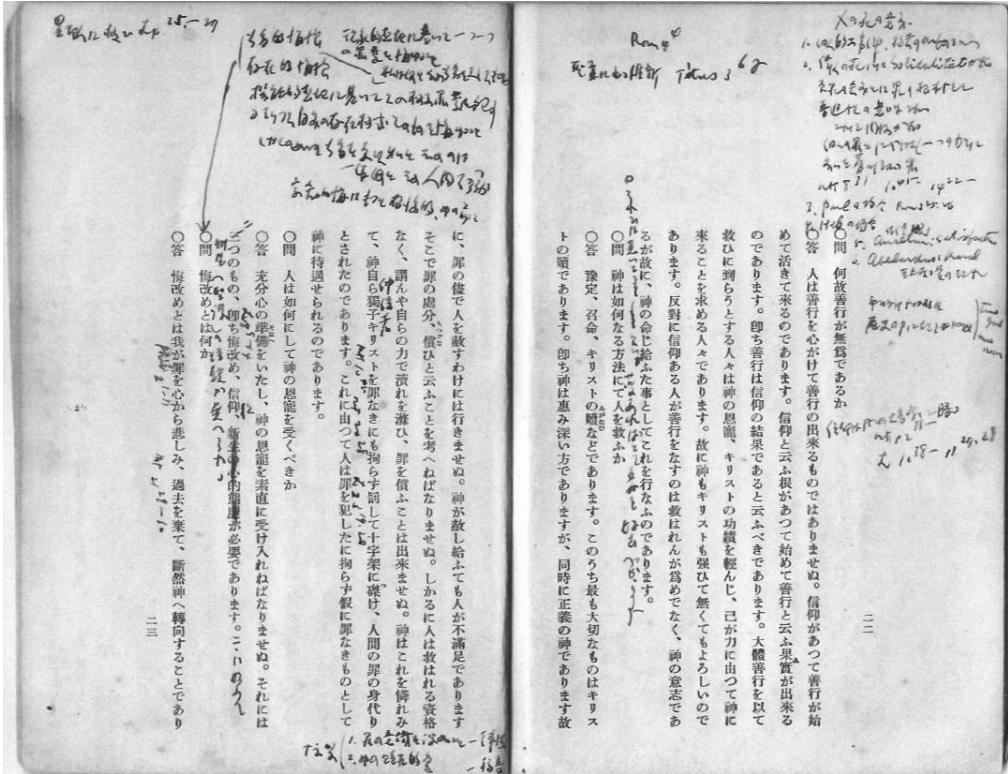
救い [ 実質的には胎脆、反逆、恐怖の如き態度に変えるに信頼柔順の如きものを  
通じて神人の正信関係と実記すること.倫理的には自己追及に  
代える自己摂理愛に加へ品性の変革である ]

Justification

Sanctification

忍父に群がれる霊

霊のめしい、あしないは陸に行くより船で行く方が良い



22 ページ

Xの死の意味

1. 個人的な事件、弱者のものである
2. 偉人の死には Solidalitions  
原罪の教義として罪の根本性と  
吾追性の無いことである  
これに関係がある  
個人の罪として□□□□一つの力として  
各々を層にしている) 罪  
Matt8-31 12-45 ~ 14-22 ~
- 3, Paulの場合 Rome3-25,26
- 4, Hebの場合 代償説
- 5, Anselm Satisfaciton
- 6, Abelordus Rural  
至上なる愛の現れ

神いなければおらず?



歴史の中にたえる□□

信仰はAr（教会？）の燔祭の膳

Acts12-33～

L10-38～ 11-27.28

聖霊による維新 Rome4-4 Timus3-6 γ

○それでは悪いと知っても知らなくても良いが、薬あればとて悪を好むべからず

## 23ページ

異邦人に救い L4-25～27

当為的悔恨 現象的想起に基いて一つ一つの罪条を悔ゆること

\_\_\_\_\_私は何とその御名をおしむものか

存在的悔恨

機能的想起に基いてその様子罪条を記す

る それらは自然の存在様式そのものを悔ゆること

しかしかの如き後を各々私とその分は

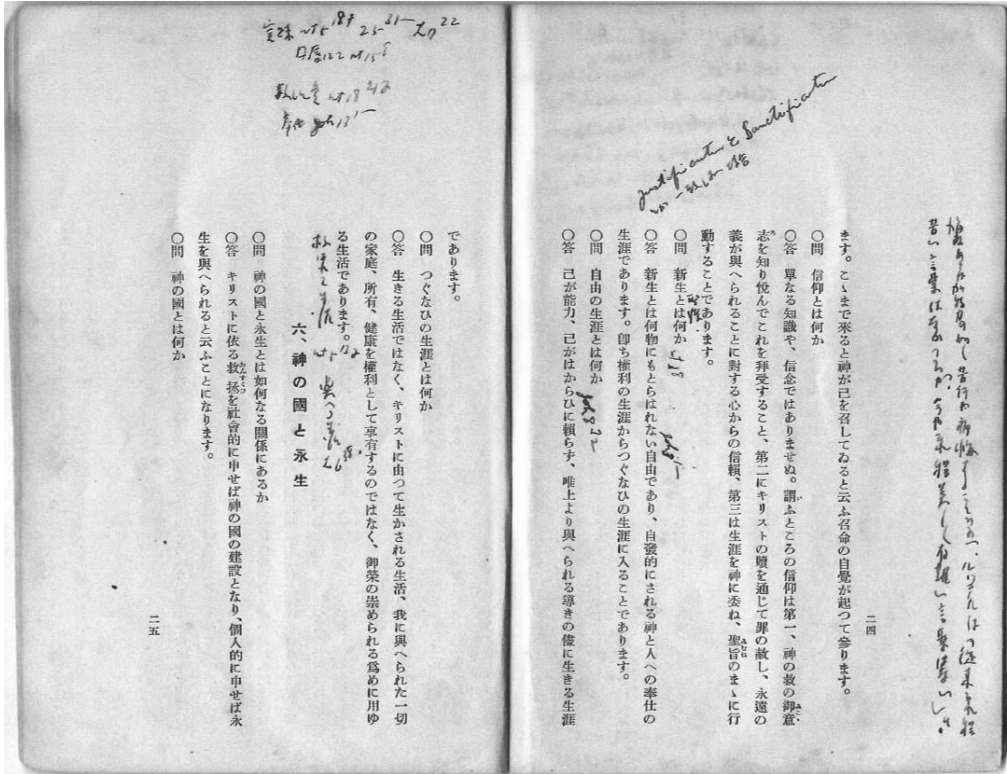
一体何とその人肉となるか

宗教的悔はもつとは根源的、神の前に

新生（聖擢）の経験が興えられる

十字架

┌	1, 罪の意識を深めること一律法
	2, 続居的愛一福音



24 ページ

Justification と Sametification が一致しない場合

悔改あとは加物力の如く苦行や病悔することできへ、ルツテルは「従来それ程苦い言葉はなかったが、いまやこれ程美しく有難い言葉はない」

25 ページ

寶珠 Matt4-18 25-31 ~ L7-22

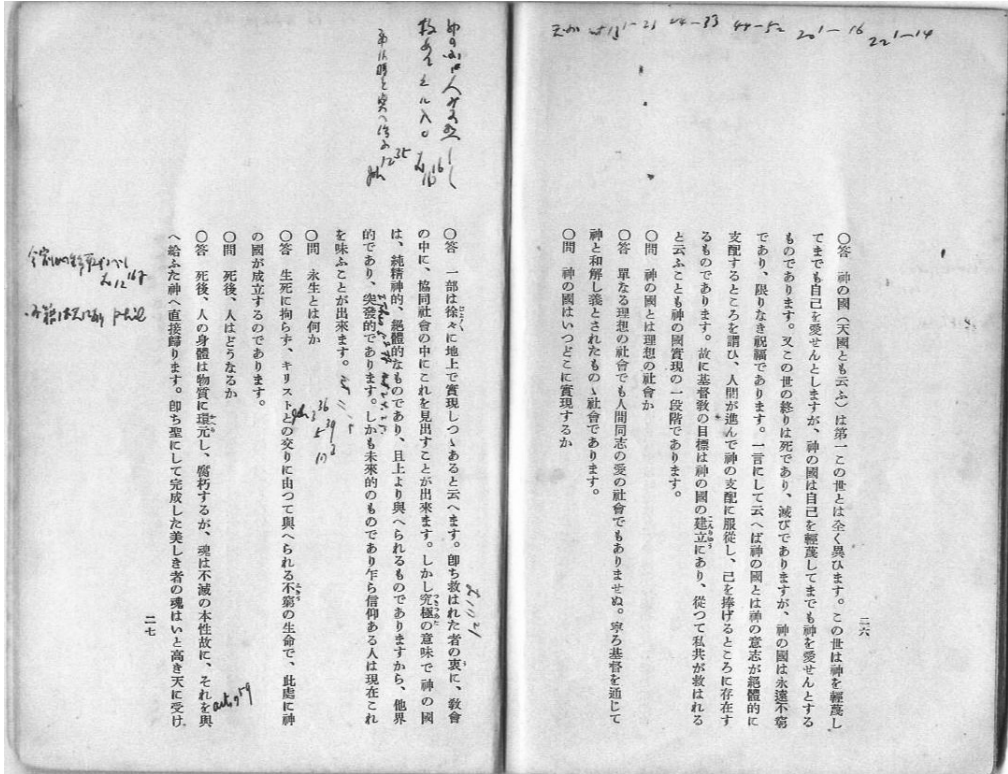
口唇にて Matt15-8

赦しと愛 Matt18-21

奉仕 John13-1 ~

救われた生活 Matt5-13

興へる生活 L6-38



26ページ

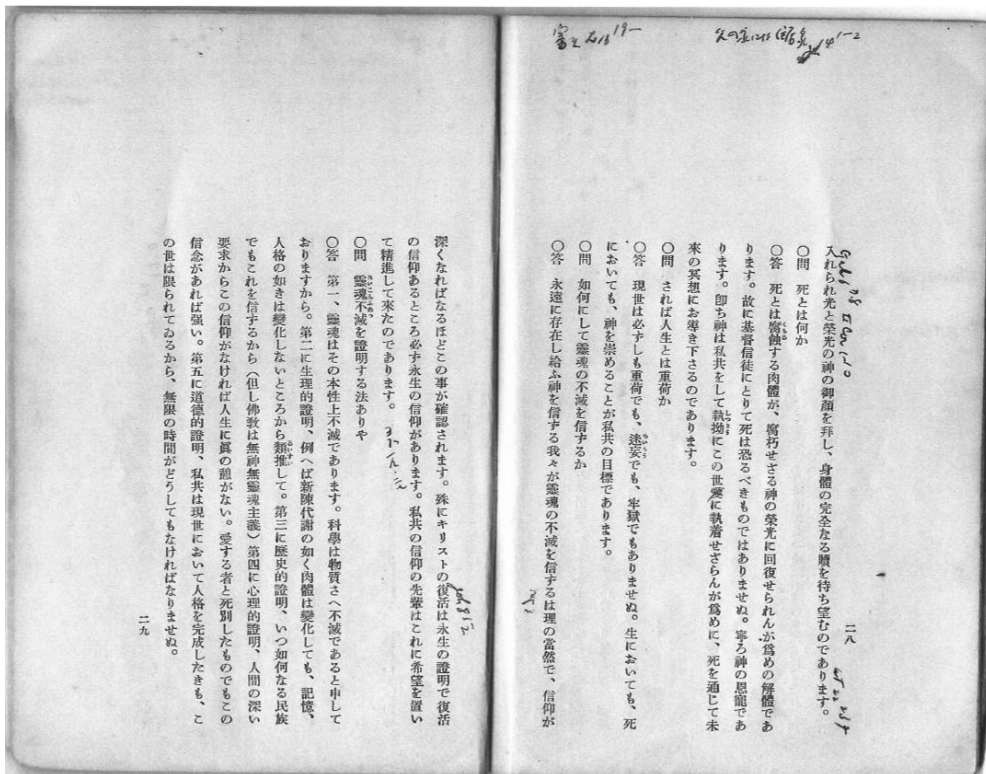
天国 Matt13-1~23 24~33 44~52 20-1~16 22-1~14

27ページ

神の国は人みな然しく

悔あらたむ入口 L16-16

神は時を與え給ふ John12-35

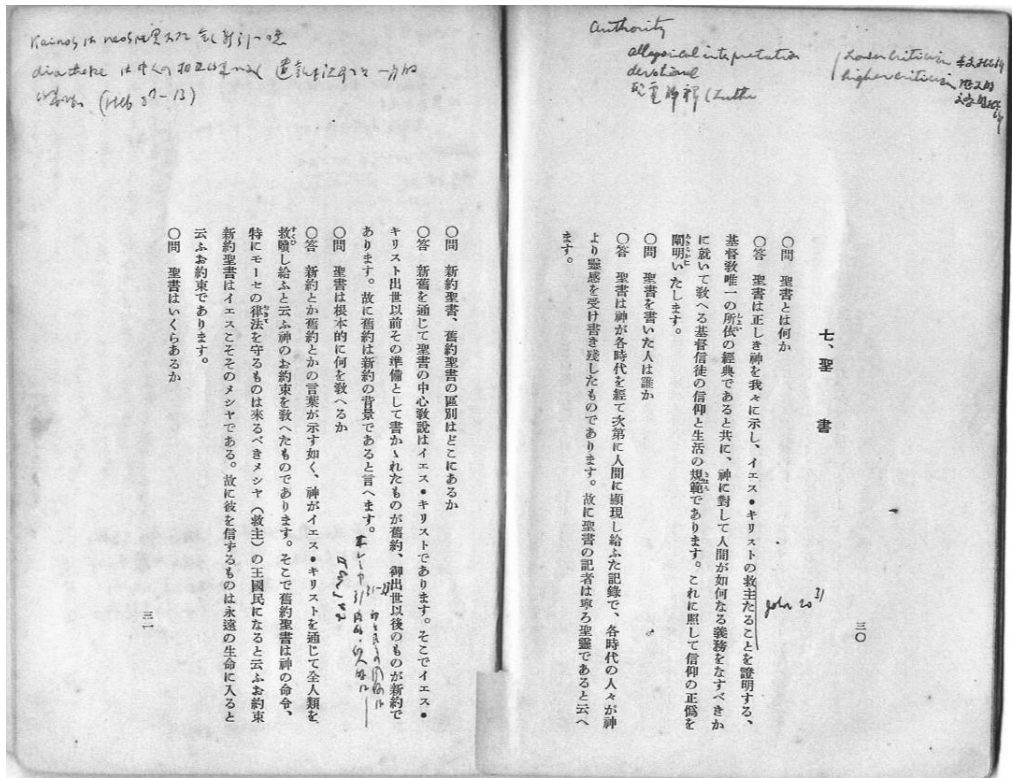


28ページ

審を L16-19～

父の家には住居衆 Joh4-1～2





30ページ

Authority

Allegorical interpretation

devotional

聖霊解釈 (Luther)

(Lower Criticism 本文批評 Higher criticism 歴史的 文学的批評)

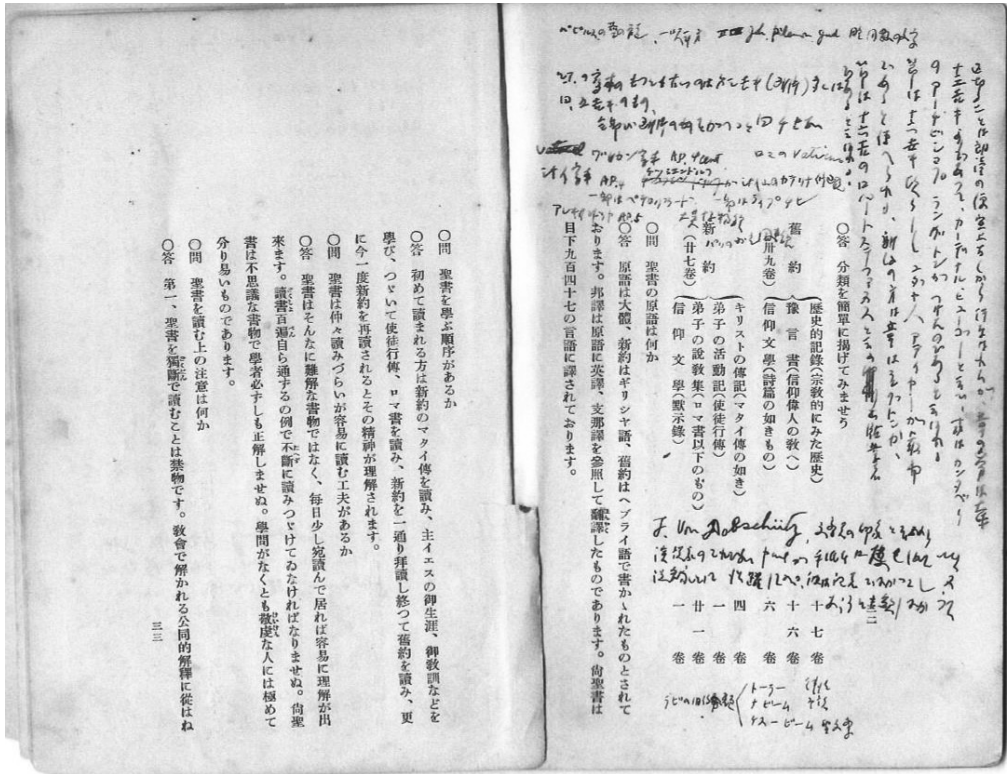
31ページ

Kainosはneosとは異なって全く新らしいの意

diathekeは神人の相対的書でなく 遺言と訳すべき一方的

伝書である (Heb8-7~13)

神と民との関係は 内的個人的に エレミア 31-31~33 II Cor3-42



32 ページ

パピルスの茎の髓—は尺平方 II John Pilemon Jud 略 同数の文字

約、の写本のもっとも古いものは第三文書（3断片）多くは AD五世紀のもの

全部が断片なものを加えると四千もある

バチカン写本 AD 4Cent ロマのVatican

シナイ写本 AD 4ケツシエンドルフがシナイ山のカテリア修道院

一部はペテログラード 一部はライプチヒ

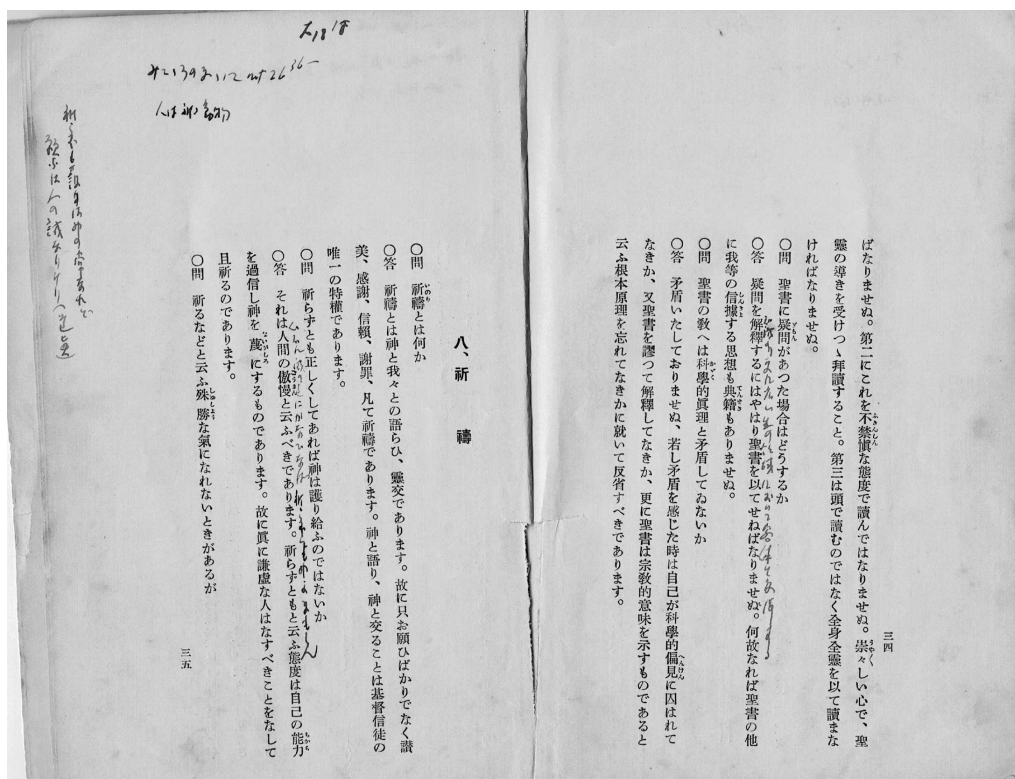
アレキサンドリア AD5 大英博物館 パリの国立文書館

区切ることは朗読の便宜上古くから行われたが、章の区分は大体十三世紀ごろであって、カーデナル、ヒューゴーと云い、或いはカンタベリーのアーチbishopp ラングトンがつけたのであると云われる節は十六世紀ごろらしい、ユダヤ人アテイヤーが最初であると伝えられている新約の方は 章はラングトンか、節は十六世紀のロバートステファヌスと云う出版業者

であると云われる。

F.Von. Dobschütz 文学者の印象と云われる  
演説家のこれである。Paulが手紙本に模せしめて そして  
説編として洗濯している、彼は記意ではかってし、又  
はこうと吉観はかって

ラビの旧約聖書 トーラー 律法  
ナビーム 予言  
ケスービーム 聖文条



34ページ

知識の上にさらに広い生の領域において交滞する

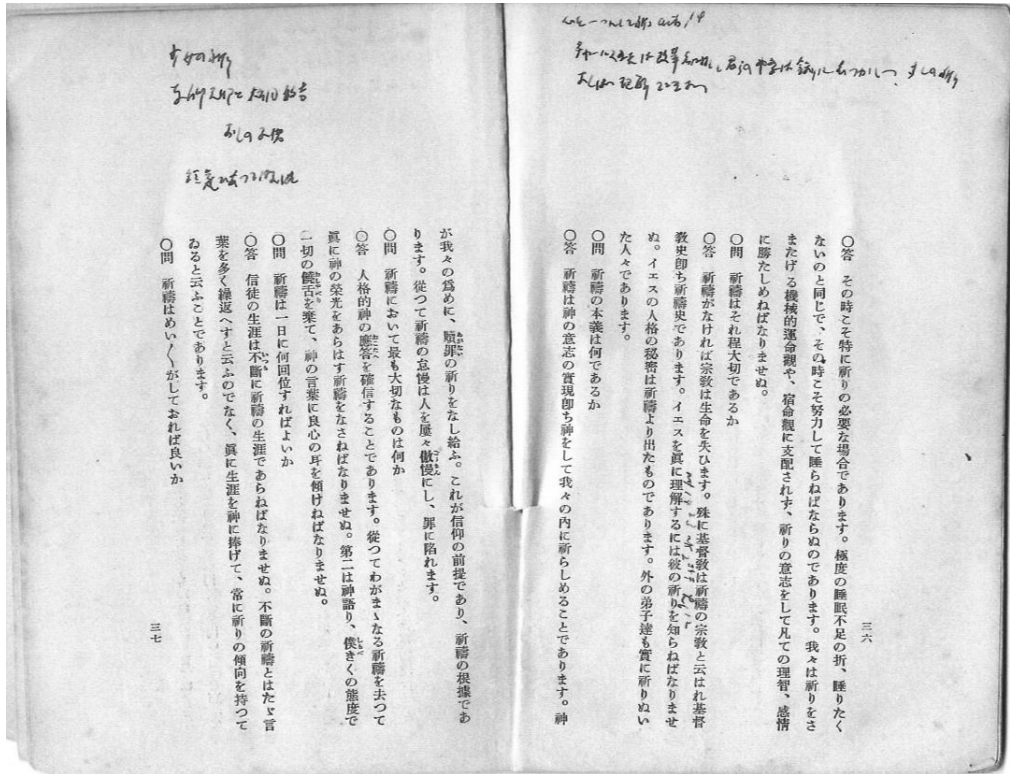
35ページ

みこころの交いて not26-36 ~ L18-1

人は祈る動物

祈らずも護は神の常なれど  
願ふは人の誠なりけり (道真)

心えん 誠の道にかなひなば 祈らずしても神の守らん



36ページ

心をひとつにして祈る Acts1-14

チャールス大王は改革者に対して 君らの神学は論りにむつかしい、主への祈りなしは理解できる

37ページ

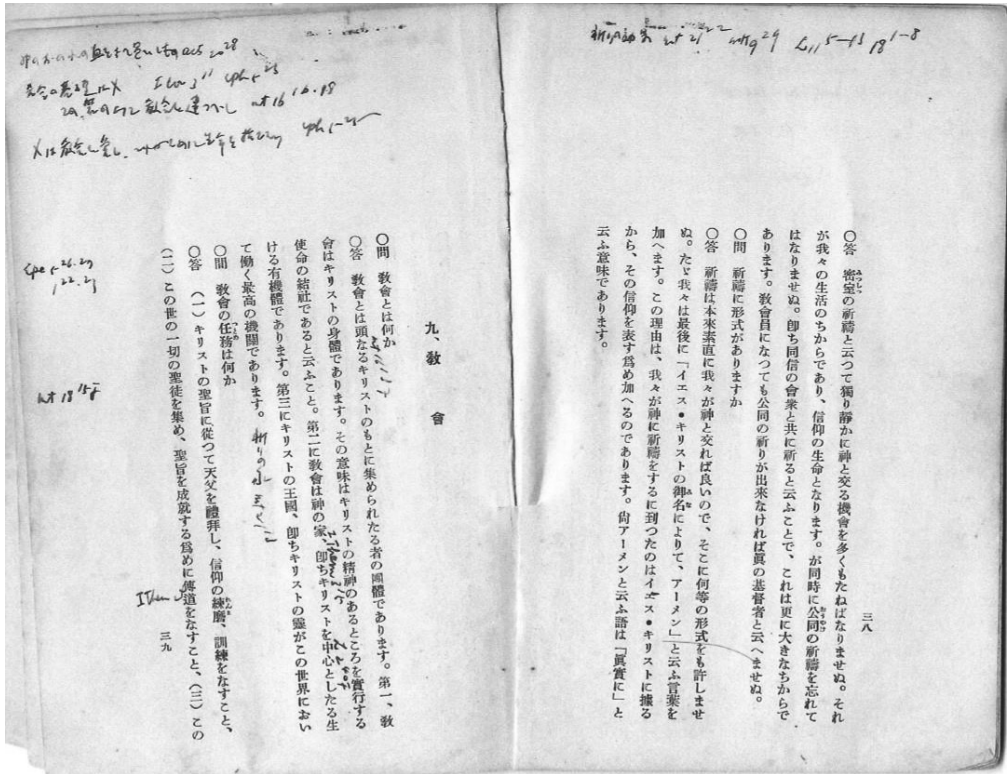
少女の祈り

支仰卿と松田敬吉

おしの子供

狂気であつてはならぬ





38ページ

祈りの効果 Ent21-22 Wolt9-29 L11-5~13 18-1~8

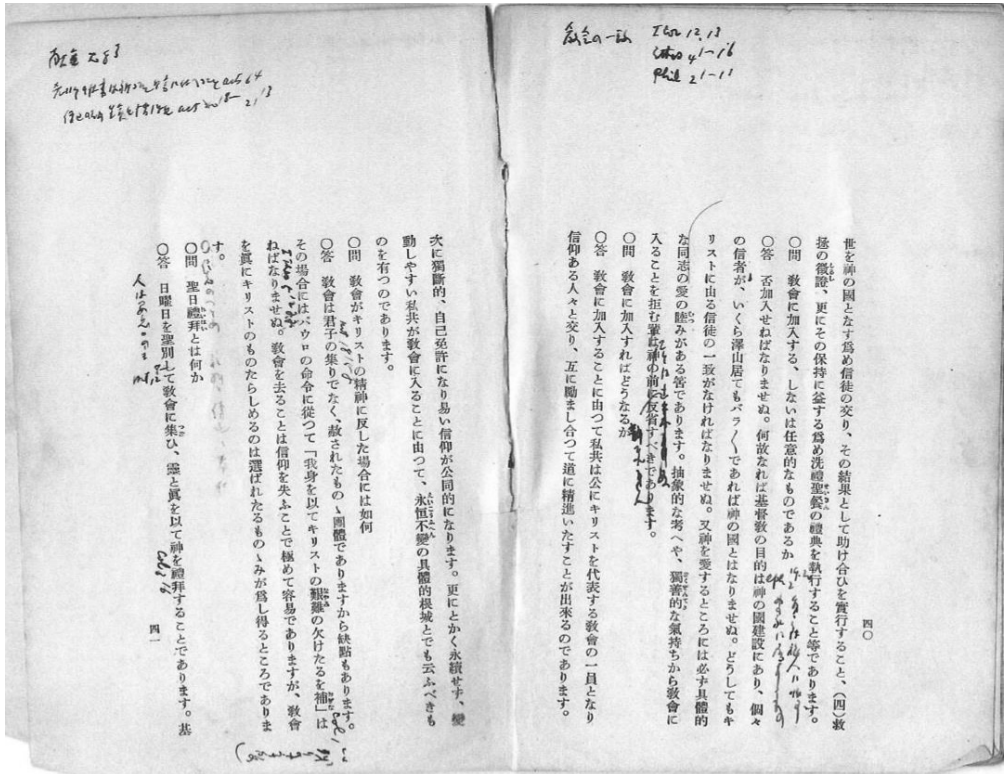
39ページ

神のおのれの血をもて負いしもの Acts20-28

教会の基礎はX I Cor 3-11 Matt16-16.18

Xは教会を愛し これがために生命を捨てたり Eph1-23

祈りの家 Matt21-13~



40ページ

教会の一致 ICor12.13 Ethos4-1~16 Phil2-1~11

我らは旅人に非ず

神の家に属するもの Eph2-19~20

41ページ

献金 L8-3

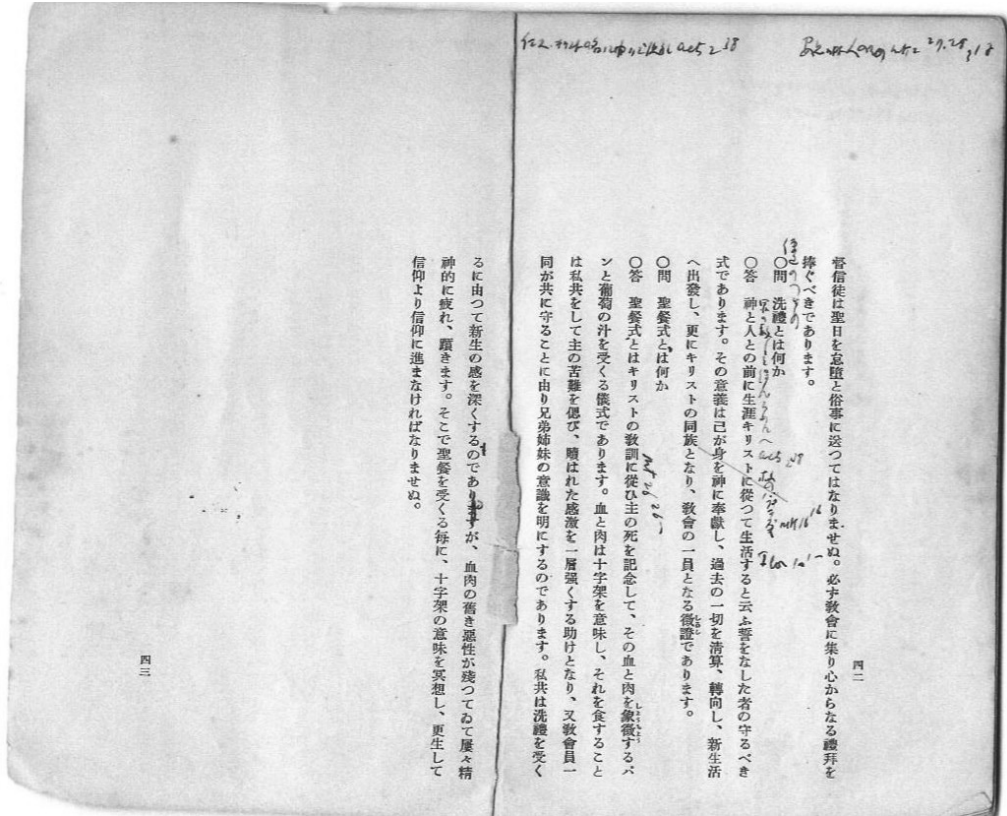
教師の仕事は祈ること御言に仕えること Arts6-4

使徒のため生命を捨てられる Acts20-18 21-13

残りの十字架 Col1-24

信者のつとめ 礼拝と伝道と奉仕

人は安息の主 Matt12-8



42 ページ

イエス・キリストの名に由りて洗禮 Acts2-38

安息は隣人のため Matt2-27.28. 3-1

伝道のつとめ

罪の赦しを得んためには Acts2-38 救いのバステズマ Matt16-16 1 Con1-1~